

令和 4 年度 大学活性化経費 事業成果報告書

事業区分 (4) 研究力の強化に関する事業 (教員の国際的な学会発表)

申請組織 生活科学部

申請組織長 役職名 学部長 氏名 本山 昇

統括責任者 役職名 講師 氏名 滝澤 愛

課題名 The 29th International Costume Congress において、“International Costume Exhibition” に採択された造形作品 1 点の発表

事業組織	役割	氏名	所属・役職名	役割分担
	統括責任	滝澤愛	生活科学部講師	

1. 事業開始の背景・経緯や目的等 (200 字～300 字程度で記述)

The 29th International Costume Congress は 2 年に一度開催される国際学会であるが、コロナ禍により延期され、4 年ぶりの開催が日本で行われた。この学会では、毎回、各国代表研究者による口頭発表、ポスター発表、造形作品発表が行われる。今年度 8 月、昭和女子大学で開催の大会に、造形作品 1 点の発表を申請したところ、採択されたので、その作品を発表することを目的とした。

2. 事業方法 (特色・独創性) 等 (300 字程度で記述)

8 月 23 日に会場で設営、24 日、25 日学会での作品発表 (展示)、終了後撤収。
・International Costume Exhibition” に出展した造形作品は、「再生ウールを使用したサステイナブル・クチュールドレス」と題したドレス作品で、地場産業である、高級ツイード織物産地として世界的にも名高い尾州のリサイクルウールや余った未利用生地を主素材に用い制作する。風合いがやや硬くなった再生ウールは、癖取りなどのオートクチュールの技法を駆使することによって、女性らしく曲線的かつ立体的なシルエットを表現したドレスに仕立て上げた。使用主素材がウールであることから季節を 2022/23 秋冬と設定し、ファッショントレンドを取り入れ、ドレスには使われることの無かったリサイクルウール素材を主として制作、発表をしたことが特色である。

3. 事業の成果（600字～800字程度で記述）

2022年8月24日、25日学会での作品発表（展示）、プレゼンテーションを行った。参加者による投票で、AWARD OF EXCELLENCE（優秀賞）を受賞した。

4. キーワード（本事業のキーワードを1つ以上8つ以内で記載）

①ファッション	②サステイナブル	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

5. 事業の達成状況及び今後の課題（事業の達成状況を踏まえて、課題、反省点、及び今後の取組みを具体的に記載すること。）

2022年2月開催、Première Vision Paris で発表された 2023 春夏の核となる主トレンドは『サステイナビリティ』であり、ここ近年トレンドとして毎回登場すると共に益々重要視され、今やハイファッションではマストポイントである。これまでも本学会の作品にはサステイナビリティをコンセプトにデザイン・制作を続けてきたが、今後とも引き続き同じテーマを掲げてデザイン、制作、発表を行っていきたい。